



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月26日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 壱番屋

コード番号 7630 U R L <https://www.ichibanya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 葛原 守

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 林 賢治

T E L (0586) 81 - 0792

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
48,480	7.7	3,769	△3.0	4,038	△0.4	2,260	△13.3	

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期	2,161百万円 (△21.6%)	2025年2月期第3四半期	2,758百万円 (△4.5%)
------------------------	-------------------	---------------	------------------

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭	円 銭
14.16	—	—

	円 銭
2026年2月期第3四半期	14.16
2025年2月期第3四半期	16.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年2月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
46,843	32,240	67.6	198.44	

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期	31,671百万円	2025年2月期	32,052百万円
-------------------------	-----------	----------	-----------

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	8.00	—	8.00	8.00	16.00
2026年2月期	—	8.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	67,300	10.3	5,400	9.6	5,500	5.9	3,300	4.0	20.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一

除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	159,630,000株	2025年2月期	159,630,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	24,680株	2025年2月期	70,026株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	159,585,863株	2025年2月期 3Q	159,544,752株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）の業績は、売上高が484億80百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は37億69百万円（同3.0%減）、経常利益は40億38百万円（同0.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億60百万円（同13.3%減）となりました。

売上高は、国内CoCo壱番屋の価格改定効果や国内子会社の事業拡大等が寄与し、増収となりましたが、米をはじめとする食材の仕入価格高騰や、人件費・物流費の増加等から、営業利益、経常利益は減益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、本部のソフトウエア入れ替えに伴う固定資産除却損や、店舗に係る減損損失が増加したこと等から、前年同期を下回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間における分野別の取り組み状況は以下のとおりであります。

(国内CoCo壱番屋)

直営店とフランチャイズ加盟店を合計したグループ全体の店舗売上高は、全店ベースで694億67百万円（前年同期比1.6%増）となりました。また、既存店ベースでは同1.0%増と堅調に推移いたしました。

昨年8月に行った価格改定以降、客数が前年の水準を下回って推移する中、幅広い顧客層の来店を促すために、当社アンバサダーの俳優・山田裕貴さんが出演するテレビCMを5月と11月に全国で放映したほか、アイドルグループ「日向坂46」や、人気ゲームソフト「モンスターハンターワイルズ」、YouTubeで人気のゲーム実況者「2BRO.」とのコラボキャンペーン等、様々な販促活動を実施いたしました。これらの取り組みによって、既存店ベースの客単価は前年同期比5.2%増となったものの、客数は前年同期比4.0%減となりました。

出退店の状況につきましては、新規出店が13店舗、退店が10店舗あり、店舗数は1,206店舗となりました。

(海外事業)

全店ベースの店舗売上高は、138億72百万円（前年同期比1.2%増）となりましたが、為替の影響を除いた既存店ベースでは、中国、台湾等で前年の水準を下回り、前年同期比1.1%減となりました。

また、出退店の状況につきましては、新規出店が16店舗あったものの、中国や台湾等において不採算店舗の撤退が15店舗あり、店舗数は217店舗となりました。

なお、5月にCoCo壱番屋のグアム1号店を出店したほか、10月には海外初出店となる「旭川成吉思汗（ジンギスカン）大黒屋」を台湾にオープンいたしました。

(国内子会社事業)

「旭川成吉思汗（ジンギスカン）大黒屋」の店舗売上高は、13億78百万円（前年同期比45.3%増）となりました。店舗数は、札幌すすきのエリアに2店舗を出店したほか、9月には福岡県にも初出店し、11店舗となりました。

「麺屋たけ井」の店舗売上高は、9億95百万円（前年同期比40.9%増）となりました。店舗数は、近鉄京都駅構内に出店したほか、CoCo壱番屋のフランチャイズオーナー2名が、奈良県と三重県にそれぞれ出店し、14店舗となりました。

「博多もつ鍋前田屋」の店舗売上高は、7億72百万円（前年同期比17.3%増）となりました。店舗数は、福岡市内に2店舗を出店し、7店舗となりました。

「らーめん小僧」等の店舗売上高は、2億17百万円となりました。店舗数は、7月に「極濃豚骨 らーめん小僧」を愛知県に初出店し、7店舗となりました。

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は468億43百万円となり、前連結会計年度末比2億57百万円増加いたしました。このうち流動資産は205億91百万円となり、前連結会計年度末比8億46百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が17億46百万円減少した一方で、売掛金が4億70百万円増加したこと等によるものであります。また固定資産は262億51百万円となり、前連結会計年度末比11億4百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が7億11百万円、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が5億85百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は146億2百万円となり、前連結会計年度末比6億17百万円増加いたしました。これは主に未払金が5億円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は322億40百万円となり、前連結会計年度末比3億59百万円減少いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の68.8%から67.6%となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月4日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	15,480	13,734
売掛金	3,677	4,148
商品及び製品	886	969
仕掛品	34	54
原材料及び貯蔵品	288	345
その他	1,070	1,338
流动資産合計	21,438	20,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,915	6,627
機械装置及び運搬具（純額）	762	695
土地	5,178	5,166
リース資産（純額）	1,397	1,568
その他（純額）	891	1,548
有形固定資産合計	14,146	15,605
無形固定資産		
のれん	2,089	1,871
その他	2,303	2,056
無形固定資産合計	4,393	3,927
投資その他の資産		
投資有価証券	531	562
繰延税金資産	1,212	1,136
差入保証金	4,550	4,612
その他	316	408
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	6,607	6,718
固定資産合計	25,147	26,251
資産合計	46,585	46,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,878	3,225
1年内返済予定の長期借入金	14	11
未払金	1,929	2,430
未払法人税等	880	389
賞与引当金	485	218
株主優待引当金	235	236
その他	944	1,263
流動負債合計	7,369	7,776
固定負債		
長期借入金	65	56
リース債務	1,126	1,269
退職給付に係る負債	1,122	1,173
長期預り保証金	3,410	3,418
資産除去債務	616	644
その他	274	263
固定負債合計	6,615	6,826
負債合計	13,985	14,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503	1,503
資本剰余金	1,392	1,388
利益剰余金	27,842	27,547
自己株式	△72	△25
株主資本合計	30,665	30,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	183
為替換算調整勘定	1,159	1,026
退職給付に係る調整累計額	63	46
その他の包括利益累計額合計	1,386	1,257
非支配株主持分	547	569
純資産合計	32,600	32,240
負債純資産合計	46,585	46,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	44,994	48,480
売上原価	22,489	24,367
売上総利益	22,504	24,112
販売費及び一般管理費	18,619	20,342
営業利益	3,884	3,769
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	72
受取家賃	655	672
その他	88	196
営業外収益合計	769	941
営業外費用		
支払利息	6	53
賃貸費用	505	526
その他	87	93
営業外費用合計	599	672
経常利益	4,055	4,038
特別利益		
店舗売却益	87	42
その他	2	4
特別利益合計	89	46
特別損失		
固定資産除却損	17	273
減損損失	184	336
その他	—	2
特別損失合計	202	612
税金等調整前四半期純利益	3,942	3,472
法人税、住民税及び事業税	1,233	1,119
法人税等調整額	43	44
法人税等合計	1,277	1,163
四半期純利益	2,665	2,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,605	2,260

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	2,665	2,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	19
為替換算調整勘定	39	△150
退職給付に係る調整額	△0	△16
その他の包括利益合計	92	△147
四半期包括利益	2,758	2,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,702	2,131
非支配株主に係る四半期包括利益	55	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正 会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	1,257百万円	1,480百万円
のれん償却額	204百万円	218百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

国内外の店舗売上高及び出店の状況

① 「国内カレーハウスCoCo壱番屋売上高」 (前年同期比増減率)

(単位 : %)

	第1四半期 (2025年3～5月)	第2四半期 (2025年6～8月)	第3四半期 (2025年9～11月)	当第3四半期累計 (2025年3～11月)
全店売上高	4.0	1.6	△0.6	1.6
既存店売上高	3.6	0.9	△1.4	1.0
客数	△6.1	△4.8	△1.1	△4.0
客单価	10.3	6.0	△0.3	5.2

(注) 店舗売上高は、直営店とFC店の売上高を合計したものであります。

② 「海外国別カレーハウスCoCo壱番屋売上高」 (前年同期比増減率)

(単位 : %)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	当第3四半期累計
全店売上高	0.7	2.9	2.6	2.1
既存店売上高	△1.8	△2.1	0.4	△1.1
連結子会社計	△2.8	△2.6	△1.0	△2.1
中国	△4.5	△6.6	△8.8	△6.7
イギリス	11.1	4.9	3.8	6.5
台湾	△6.5	△6.0	0.5	△3.8
アメリカ	0.0	0.4	0.9	0.5
香港	△3.7	0.5	0.4	△0.9
FC展開エリア計	△0.7	△1.6	2.2	△0.1
タイ	△4.7	△4.9	1.1	△3.0
韓国	△0.5	0.3	△0.3	△0.2
その他FC展開エリア計	2.1	△0.4	4.5	1.9

(注) 1. 連結子会社は、該当会計期間である2025年1月～9月の実績であります。

2. その他FC展開エリアは以下の国々であります。

インド、アメリカ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム

(※アメリカと中国は、当社連結子会社の他にFCによる展開も行っております。)

3. 算出にあたっては、為替の影響を除き計算しております。

③ 「カレーハウスCoCo壱番屋既存店売上高の予想値との比較」 (前年同期比増減率)

(単位 : %)

		第3四半期
国内店舗	予想値	△2.0
	実績値	△1.4
	差異	0.6
海外店舗	予想値	0.9
	実績値	0.4
	差異	△0.5

(注) 予想値は2025年10月6日の第2四半期（中間期）決算短信で公表いたしました当期の業績予想の試算にあたって設定した数値であります。

④ 「国内業態別出店状況」

(単位:店)

会社名	展開ブランド	新規出店数	退店数		純増店舗数		2025年11月末店舗数	
			内、直営	内、直営	内、直営	内、直営	内、直営	内、直営
(株)壱番屋	CoCo壱番屋	13	11	10	6	3	3	1,206
	パスタ・デ・ココ	2	1	—	—	2	1	29
	その他	—	—	1	1	△1	△1	2
小計		15	12	11	7	4	3	1,237
(株)大黒商事	大黒屋	3	2	—	—	3	2	11
(株)竹井	たけ井	3	1	—	—	3	1	14
(株)LFD JAPAN	前田屋	2	2	—	—	2	2	7
(株)KOZOU	らーめん小僧 他	1	1	1	1	0	0	7
小計		9	6	1	1	8	5	39
合計		24	18	12	8	12	8	1,276
								157

- (注) 1. CoCo壱番屋では、直営店からFC店への譲渡を5店舗、FC店から直営店への譲受を3店舗実施いたしました。
2. 大黒屋では、(株)壱番屋の子会社である(株)ITEカンパニーがフランチャイジーとして3店舗を経営しております。
3. たけ井では、CoCo壱番屋のFCオーナーがフランチャイジーとして2店舗を経営しております。
4. 対象期間は、2025年3月～11月の実績であります。

⑤ 「海外国別出店状況」

(単位:店)

		新規出店数	退店数	純増店舗数	2025年11月末店舗数
連結子会社	中国	2	4	△2	28
	イギリス	—	—	—	2
	台湾	4	6	△2	39
	アメリカ本土	1	—	1	7
	香港	—	—	—	9
	小計	7	10	△3	85
FC展開エリア	インド	—	—	—	2
	タイ	1	3	△2	45
	韓国	5	—	5	41
	アメリカ本土	—	—	—	1
	ハワイ	—	1	△1	3
	グアム	1	—	1	1
	シンガポール	1	—	1	4
	インドネシア	—	—	—	11
	フィリピン	1	—	1	18
	中国	—	—	—	1
	ベトナム	—	1	△1	5
小計		9	5	4	132
合計		16	15	1	217

- (注) 1. 対象期間は、各国とも2025年3月～11月であります。
2. 台湾の新規出店数には大黒屋1店舗を含み、それ以外はCoCo壱番屋であります。